

# 大町病院サポーターの会会報

№. 80

2020年12月発行

大町病院サポーターの会

発行責任者 降旗 剛

## 元気だしてね！！ 病院スタッフの皆さん イルミネーション2万球が灯って応援

12月2日午後5時30分、病院駐車場に立つもみの木の周りでイルミネーションの点灯式を行いました。点灯式は会場にいた約50人の参加者全員のカウントダウンから始まり、井上善博病院長、牛越徹市長、降旗剛会長の3人がスイッチを押し点灯しました。今年のイルミネーションはラインを一新、球も倍の2万球を使用し、ツリーと手すり、アーチ、庭木などへ電飾したものです。

点灯の後、井上病院長の感謝とコロナ対応に職員が率先して対応している姿を報告しました。牛越市長も「コロナに忙殺される職員、市民に癒しになる企画」とお祝いを述べ、参加者全員で記念撮影を行いました。野外でのコンサートはオカリナ演奏グループのポポロによる「もろびとこぞりて」「ジュピター」「見上げてごらん夜の星を」、病院職員研修講師の垂水謙太郎先生のバイオリンによる「クリスマスソングメドレー」、最後は西川葵先生のマンドリンによる「信濃の国」の演奏と合唱でフィナーレとなりました。最後に降旗会長の病院職員への感謝と激励の心を込めた挨拶で閉会しました。

このイルミネーションは毎日午後5時から病院消灯時間の午後9時まで点灯されます。期間は3月末までの4か月です。



オカリナ：ポポロの皆さん



バイオリン：垂水謙太郎先生



マンドリン：西川葵先生

# 剪定・草取りでスッキリ 先生方を先頭に 30 余人が汗を流す



10月4日午前9時から10時30分まで、職員、会員30人余で病院花壇の草取りと庭木の伐採・剪定作業を行いました。井上善博病院長・事業管理者、青木俊樹、大田久彦、高木哲副院長はじめ多くの職員や会員が作業に汗を流しました。病院職員労働組合からお茶の差し入れがありました。新津義文先生は出張のため挨拶、激励に見えられました。周辺はきれいに整備されました。ありがとうございました。

作業に参加の皆さん（受付分：順不同 敬称略）

松澤絹枝 和田由美子 鳥羽嘉明 北澤孝一 平林裕子 中村薫 望月めぐみ 松澤恵美 山口悦子  
井出好美 降旗菜穂子 高橋鮎美 武田悦男 降旗いずみ 小日向明等々力伸彦 黒岩良介 坂井賢  
坂井てるみ 伊藤道子 平林ひろい 小林由美枝 遠山千秋 郷津一二三 井上善博 青木俊樹  
太田久彦 高木哲 川上晴夫 坂井征洋塩原義夫 小浪和正 松下吉邦 海川明文 高橋博久 降旗剛



## コロナに負けるな！きのこ汁と新米等を差し入れ



新型コロナ対応で奮闘されている大町病院の医局の皆さんに、10月26日正午前、降旗 剛会長と事務局は会長自ら栽培した新米八坂産コシヒカリ 60Kg (2kg入小袋 30個) と会員が山で採取したきのこを使い大鍋で作ったきのこ汁を差し入れしました。

新米を食べた先生方からは「一粒一粒がふっくら、プチプチして存在を主張しあい、美味しかった。」と話されていました。きのこ汁は役員が前日、山からとってきた「チャナメツムタケ」など12種類のきのこで作られたものです。医局でおかわりをして食べていただきました。

## 会員から秋野菜の差し入れが続きました

9月28日キャベツ30個、11月2日に白菜30個、11月5日下仁田ネギ150本、11月16日大根30数本が医局に差し入れされました。これは会員の畑で有機栽培、減農薬で作られた野菜です。

新型コロナウイルスと戦う先生方に味わっていただきました。喜んでいただければ幸いです。



## イルミネーション設置に2日かかり

11月28日、29日の両日イルミネーションのセッティングが行われました。28日は北沢学さんの指導により庭木、手すり、階段にアーチをかけるなどの作業を7人で行い、29日は高所作業車を使用して十日会の皆さんの指導のもと、役員など17人が25mのもみの樹へのセットに汗を流しました。コーディネートは松坂希典さんが行いました。



## イルミネーションセットに先立ち設備改修へ

10月18日、イルミネーション点灯に先立ち、見栄えを良くし風雪に耐えられるように、老朽化した鉄枠を補修しました。イルミネーションがセットされて数年が経過し、セットラインを支えるリングが腐食、変形するなどしたため十日会の皆さんの力で大規模修理が行われました。柳沢英幸副会長らが、電源車、高所作業車を用意し、高所作業車に乗り込みバーナーを使用して、半日がかかりの大改修作業でした。



## やまゆりの球根 20 球を植える



11月15日、信州花フェスタ記念花壇へやまゆりの球根 20 球を植えました。

三役が耕運機を持ち込み耕し、油かすと腐葉土を混ぜ整地した上へ球根を深めに植え付けました。来年が楽しみです。なお泌尿器科の南側花壇にも数球植えました。市民、患者の皆さんの癒しになればと願いを込めて。

## 西川葵先生を中心に病院職員が結成

職員による大町病院ガーデン部が結成されました。代表は西川葵先生で12月5日、初めての活動であるパンジーが8鉢、24株植えられました。入院患者さんを癒やし、喜んでもらえる一環としての試みです。ガーデンプレートも可愛く作る予定。ガーデン部の構成員は12人で、医師、看護師、理学療法士、検査技師で構成し、アドバイザーとして金子医師、鳥居医師、降旗看護部長が当たります。今後の活躍が楽しみです。



## 信大医学部研修生の関屋愛璃香（えりか）さんに市内案内

信州大学医学部5年生の関屋愛璃香さんが大町病院で研修を受けました。11月11日、大町病院と大町市の良いところを視察研修するため第2次医療圏の範囲と大町の歴史、自然、地理、産業、まちづくり、サポーターの会の結成経過と現状など、案内と説明をしました。

研修最後に、必ず大町病院に帰ってきてくださいとお願いしました。



## 御礼のメールがありました

先日は、大町地域視察で、沢山の名所等をご案内いただき、本当にありがとうございました。知らないことばかりで、楽しむことができたと共に非常に勉強になりました。特に、小熊山から望む木崎湖が印象深いです。

また、大町病院のイルミネーションや、若一王子神社の流鏝馬を是非見に来たいと思っています。本当にありがとうございます。とても良い思い出になりました。友達にも紹介したいと思っています。貴重なお時間をいただき心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

## 新型コロナから身を守れ

新型コロナは目、鼻、口から感染するので手で顔を触らない。飛沫感染するもので皮膚感染はしないことから、基本的な感染予防は手洗い、マスク、うがい、3密を避けることです。過度の心配より、基本対応が重要となります。手洗いは石鹸でしっかりと、マスクはお互いにし、人との間隔は2mあれば安全とされています。保菌しても2日間は症状が出ません。年末年始の帰省時には気をつけて対応しましょう。

クラスターが発生すると医療機関が崩壊



の危機に直面し、地域も大混乱します。

## 75歳以上の後期高齢者医療費、自己負担2割、拡大へ

後期高齢者の医療費自己負担引き上げが政府で検討されています。

政府・与党は12月4日、75歳以上の後期高齢者の医療費窓口負担をめぐり、団塊の世代が対象となる2022年10月から現行の1割から2割に引き上げる方針を固めました。具体的な対象者については政府案の「年

収170万円以上」に対し、公明党はより絞り込んだ「年金240万円以上」を主張しており、詰め調整が続けられています。コロナで自殺者が急増している中、例えばイージス・アショア代替のイージス艦5000億はそのまま。高齢者医療の負担増加はなんとかならないものか。

## お知らせ

### 新型コロナにまけない 激励！職員・家族スキー交流会を開催します（予定）

恒例の（去年は雪不足のため中止）スキー交流会を開催することが第3回幹事会で決まりました。

時期は1月下旬～2月上旬の日曜日です。

会場は新装なった爺ガ岳スキー場を予定しています。

詳細はこれから折衝のうえ、詰めてお伝えします。

お楽しみに

※会報1号から79号まで大町病院ホームページ、最下段に大町病院サポーターの会のバナーがあります。クリックするといつでも見ることができます。